

川崎病院モニター会議 結果の概要

| No. | 提案・意見 | 内容 | 対応策等 |
|-----|------------------|--|---|
| (1) | 外来診療における待ち時間について | 診療の順番がわかるようにしてほしい。 | 一部診療科ではモニター上に診療の順番を表示しておりますが、他の患者さんの症状や病状、診療途中に行っていた検査の状況などにより、順番が前後することがあります。また、診療の順番確認や具合が悪くなったときに申し出やすいように、看護師やクラークに相談しやすい環境を整備します。 |
| | | 診療予約時間に対して、現在、どのくらい診療が遅れているのか周知してほしい。 | 一部診療科ではモニター上に診療の順番を表示しておりますが、他の患者さんの症状や病状、診療途中に行っていた検査の状況などにより、順番が前後することがあります。また、診療の順番確認や具合が悪くなったときに申し出やすいように、看護師やクラークに相談しやすい環境を整備します。 |
| | | 自分の診療まで時間があるときは、診療時間まで別の場所に居てもよいことを患者等に周知してほしい。 | 患者待ち時間調査の結果を受け、平成26年度に患者さん呼び出しシステム『院内ポータブル受信機』の導入に向け、設置費用、試験導入、中継器設置場所などの検討を行いました。課題もあることから、他の手法などについて引き続き検討してまいります。 |
| (2) | 病院内の診療連携について | 複数の診療科で診療を受ける場合、患者や家族が治療方針等で迷わないよう医師同士の連携をより強化してほしい。 | 他科依頼票を必ず記載し連携を図っています。また、不明な点があれば、他診療科に確認をしたうえで診療を行っているところではございますが、改めて徹底をしてまいります。 |
| (3) | 健康診断について | 人間ドックを受診できるようにしてほしい。 | 当院は救命救急等を担う急性期病院であり、高度・特殊な医療を必要とする患者さんの診療を最優先としております。そのため、診療ではなく、緊急を要しない人間ドックについてはお受けしていません。 |
| (4) | 退院時、訪問看護の必要性について | 訪問看護を必要とする患者が退院する際は、訪問看護ステーションに情報を提供してほしい。また、家族やケアマネジャーに対し訪問看護の必要性について説明してほしい。 | 平成26年度より、院内で退院調整勉強会や訪問看護ステーションへの実習などを開始し、在宅での訪問看護や往診の必要性について知識を深めている状況です。地域医療部による病棟ラウンドを実施し、退院患者の訪問看護の有無等について把握し看護要約等の作成を徹底するようにしています。 |
| (5) | 病院のハード面の充実について | 病院の周りに散歩コースを設置してほしい。(例えば、グリーンロード・里山等)また、保育所周辺にベンチを設置してほしい。 | 病院の周りにグリーンロード・里山等を設置するには、駐車場や歩行路など、施設・設備の配置等を見直す必要があることから、現時点では困難です。また、ベンチ等の設置については保育室で預かっている子供達の突発的な行動(飛び出し等)により患者さんに接触をしたり歩行者の妨げとなるなどトラブル発生の恐れがあるため、難しいと考えます。 |